

2022 年度 一般社団法人日本臨床化学会 第 2 回理事会（拡大理事会）
ハイブリッド開催議事録

日 時： 2022 年 9 月 30 日（金） 17：30-19：05

会 場： 富山県民会館 3 階 301 号室

議 長： 三井田孝（理事長）

出席者：

【現地】 三井田孝（理事長）、菅野光俊、三浦雅一、山田俊幸、吉田 博（以上 常務理事）川崎健治、
恵 淑萍、小谷和彦、酒瀬川信一、城野博史、中川沙織、濱田悦子、堀田多恵子（以上 理事）、
前川真人、矢富 裕（以上 監事）、北島 勲（第 62 回年次学術集会長）、眞野成康（支部長）、
高妻卓司、山口哲史（以上 企業懇話会世話人）

【Web】 河野麻理、坂本秀生、柴田綾子（以上 理事）、吉田 繁、加藤公則、末廣 寛、
米田孝司（以上 支部長）、菅野和久（支部長代理）

欠席者： 川野克己、仁井見英樹、村上正巳（以上 理事）、松本祐之（教育委員会委員長）
中山智祥、前田士郎、松下 正（以上 支部長）

理事出席者数 16 名（全理事数 19 名）、全出席者数 27 名

議 題

1. 開会の辞（三井田 理事長）

- ・本会名誉会員である野間昭夫先生への黙祷を行ったあと、理事長から開催のご挨拶があった。
- ・理事総数 19 名中 18 名の出席が確認され、会議は成立した。

2. 第 62 回年次学術集会長挨拶（北島 年次学術集会長）

- ・第 62 回年次学術集會会長の北島先生から挨拶があった。

3. 議事録確認者の指名（三井田 理事長）

- ・川崎健治理事、濱田悦子理事が指名された。

4. 報告事項

1) 庶務報告（山田 庶務担当理事）

- ・学会会員の現状報告ならびに事業報告・事業計画について報告がなされた。

①学会会員現状報告

- ・2022 年 9 月 20 日時点で、正会員 1,440 名、正会員（30 歳未満）145 名、評議員 168 名となっており、会員数は増加している。

②事業報告・事業計画

- ・6 月の社員総会以降に各種委員会の開催、学会誌発行・役員選挙などが実施された。
- ・10 月以降は年会時の会議開催、学会誌発行などを予定している。

2) 2022 年度会計中間報告（菅野 担当理事）

- ・2022 年 4 月～8 月までの中間会計報告がなされた。
- ・現状は特に問題なく手続きを進めている。

3) 常置委員会報告

- ・各常置委員会の活動について以下のとおり報告がなされた。

①編集委員会報告（城野 編集担当理事・委員長）

- ・刊行状況：第 51 巻 3 号（7 月 29 日発行）まで発行済。
- ・ACB 報告：IF は 2.5。日本からの投稿を増やしてほしいという依頼が入っている。
- ・リポジトリ公開：他学会などの規約を参考にして内規を作成予定。

②国際交流委員会報告（坂本 国際交流担当理事・委員長）

- ・IFCC：IFCC WorldLab Seoul 2022 & APFCB Congressにて仁井見先生が発表した（Web参加）。
- ・IFCC：POCT Satellite Meeting Naples 2023, 2023年5月19-20日開催
- ・IFCC eNews：学会賞受賞者の研究紹介を投稿・掲載済
- ・APFCB News：第61回日本臨床化学会年次学術集会報告 2022 Issue 1号掲載済
- ・今後の国際学会の報告：2023年5月21-25日 XXV IFCC-EFLM WORLTLAB-EUROMEDLAB ROME 2023, ローマ, イタリア, 他
- ・Medical Laboratory Professionals Global Weekへの動画協力：毎年4月中旬にGlobal MEDLAB Week（臨床検査週間）が催されている。今後も継続的に動画提供の依頼が予想されるので、国際交流委員会として60-90秒程度の動画作成協力を会員に向けて行ってはどうかという提案があり承認された。
- ・JSCCからの海外発信：職場紹介として検査室または研究室紹介を執筆頂ける方を推薦頂きたいとの提案があり承認された。理事長より、会員宛の案内文を作成してほしいという依頼があった。

③教育委員会報告（濱田 教育担当理事）

- ・認定臨床化学者：新規申請13名、更新申請12名が書類審査で合格となった。
- ・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者指定講習会：年会最終日に開催する。
- ・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度：第6回認定試験（2022年度）は12月中旬実施予定、会場は文教学院大学を予定。日程が決まり次第案内をする。
- ・第1回更新申請：登録更新申請期間は11月1日（火）～11月30日（水）
- ・更新セミナー：第61回年次学術集会セッションより抜粋した4セッションを更新セミナーとして公開する。オンデマンド配信は10月3日開始予定。更新セミナーとしては分割型のため、A.B.Cの15単位を取得する必要があるが、精度管理に関連する研修会として参加する場合は10単位が取得可能。

④学術連絡委員会報告（山田 学術連絡委員会委員長）

- ・プロジェクトに関する進捗状況を整理した。
- ・2023年度日本臨床検査医学会共催シンポジウム担当は基準範囲共用化委員会に依頼した。
- ・プロジェクト申請～終了までの手順について、和文投稿の際の記載に関するガイドラインに該当しないものがあるため、一部再検討をする予定。

⑤集会・広報委員会報告（吉田 集会・広報委員会委員長）

- ・学会ホームページのバナー広告の掲載位置を変更し、右上側に移動させた。
- ・掲載位置によって不公平がある可能性もあるため、順番を変えるなど検討する。
- ・バナー広告については企業懇話会の意見も伺い検討する。

⑥学会賞選考委員会報告（恵 学術担当理事）

- ・JSCC Student Award 報告：厳正な審査の結果10名が選出された。

⑦法務委員会報告（柴田 法務担当理事・委員長）

- ・利益相反は218名中215名から回答があった。未回答の方には事務局より連絡をしている。所属が変更されていた方もいたため、会員登録情報の更新を徹底してほしい。
- ・利益相反登録用のフォーマットを次年度用に4点改定する予定。
 - ・企業や営利を目的とした団体からの報酬などの記載欄が足りない場合の項目欄に「企業名・金額」を追記
 - ・寄付講座設置期間に「開始年月日・期間」を明記するよう追記
 - ・申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者がいない場合は氏名の記

載を不要とする

・企業の「執行役員」の方でCOIが記載されていない場合、記載を依頼する。

・倫理マネジメント教育:今後、倫理マネジメント教育の必要性があることから法務委員会で担当し、細則にその旨追記する。

⑧あり方検討委員会報告（川崎 会務担当理事・あり方検討委員会委員長）

・JSCC Student Awardに関する内規の作成を理事長に依頼され、短期間ではあるが完成させて、今年度から実施することができた。

・上記のような案件で検討が必要なものがあれば提案していただきたい。

⑨若手育成委員会報告（小谷 若手育成委員会委員長）

・若手の育成と交流を目的として常置委員会として活動を始めている。9月20日に勉強会をWEBで開催した。参加者は約80名。理事長より、共同企画などを検討してほしいという提案があった。

4) 支部報告

・下記9つの支部から支部総会・支部例会などの報告がなされた。

①北海道支部（吉田 支部長）、②東北支部（眞野 支部長）、③関東支部（山田 庶務担当理事）、

④甲信越支部（山田 庶務担当理事）、⑤東海・北陸支部（山田 庶務担当理事）、

⑥近畿支部（米田 支部長）、⑦中国支部（末廣 支部長）、⑧四国支部（菅野 支部長代理）、

⑨九州支部（山田 庶務担当理事）

5) 企業懇話会報告（高妻 企業懇話会世話人）

・年会時に企業シンポジウムを開催する。学会からの要望である国際色を出すため、海外からの演者（ベンチャー企業）を依頼した。

・企業シンポジウムの後に企業懇話会を開催する。

6) 第63回年次学術集会報告（吉田 年次学術集会長）

会 期：2023年10月27日（金）～29日（日）

会 場：ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区）

集会長：吉田 博氏（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授）

副集会長：小倉正恒氏（千葉大学大学院医学研究院 総合医科学講座）

テーマ：持続可能な医療の質を支える臨床化学の発展

開催形式：現地開催をメインに一部WEBによるハイブリッド開催を予定

7) 第64回年次学術集会報告（山田 年次学術集会長）

会 期：2024年8月30日（金）～9月1日（日）

会 場：宇都宮市での開催を予定

集会長：山田俊幸氏（自治医科大学 臨床検査医学 教授）

副集会長：小谷和彦氏（自治医科大学 地域医療学 教授）

5. 審議事項

1) 理事・監事選出について（吉田 選挙管理委員会委員長）

・選挙実施に関する情報と結果が下記のとおり報告された。

・有権者数168名、投票率84.5%であった。

・理事選挙は(1)医師、(2)教育・研究職は立候補者3名、(3)医療職、(4)産業系は立候補者2名、監事選挙は立候補者1名であった。

・選挙により下記の理事候補・監事候補が選出された。

【理事】 (1) 医師：小谷和彦氏、三井田孝氏

(2) 教育・研究職：石井直仁氏、大川龍之介氏

(3) 医療職：川崎健治氏、山下計太氏

(4) 産業系：山口哲史氏

【監事】 三浦雅一氏

・選出された理事・監事候補は理事会にて承認された。

2) 名誉会員・有功会員（候補者）について（三井田 理事長）

・名誉会員候補 9 名・有功会員候補者 10 名について提案があり、理事会にて承認された。

【名誉会員】 石井潤一氏、植田 成氏、川野克己氏、康 東天氏、北島 勲氏、柴田綾子氏、
松本祐之氏、村上正巳氏、米田孝司氏

【有功会員】 荒木秀夫氏、萱場広之氏、菊池春人氏、小林典裕氏、菱沼 昭氏、藤井 聡氏、
星野 忠氏、村田 満氏、村本良三氏、吉本 茂氏

3) 第 65 回年次学術集会長について（吉田 集会・広報委員会委員長）

・第 65 回（2025 年度）年次学術集会長候補について、集会・広報委員会にて候補者を選出し厳選な
審査をした結果、下記の候補者を選出した旨報告がなされた。

齋藤邦明先生（藤田医科大学大学院保健学研究科 教授）

・上記について理事会にて承認された。

4) 転載許諾申請について（城野 編集担当理事・委員長）

・学会誌の冊子体廃止に伴い、転載に関する内規を作成することになった旨説明があり、転載許諾申
請書案の提示がなされた。

「理事からの意見」

・筆頭著者の許諾をとるということは困難なので削除したらどうか。

・転載利用区分に③準学術という区分があるが、学術的な利用については、本誌の内容を広める
という役割もあるため、無償としてはどうか。

・学術的利用でもその商業目的となる場合もある。申請書のフォーマットを作成し、商用か学術
利用かのチェック欄を設けたらどうか。

・上記意見を踏まえて、再度編集委員会で検討して理事会に提出することとなった。

5) 医学研究の利益相反に関する指針案と細則案について（柴田 法務担当理事・委員長）

・医学研究の利益相反に関する指針案と細則案の提案がなされた。その中で下記 3 件について理事会
での検討がなされ、下記のように決定した。

① COI の申告・開示

・現行では支払われた総額が年間 200 万円以上となっているが、日本医学会および日本医学会連合よ
り提示されている COI に準拠し、100 万円以上とする。

② COI の開示場所について

・現行では発表の冒頭部分とされているが開示されていけば場所は問わないのではという意見があ
った。また、様式の内容について、筆頭発表者のほか共同発表者も開示したほうが良いという案が
あり、再度委員会で検討することとなった。

③ ホームページでの COI 関連の掲載場所と掲載内容について

・ホームページでの公開は必要であるので、準備をお願いしたい。なお、現在掲載されている Q&A 6
は削除する。

6) 評議員の更新資格条件の見直しについて（柴田 法務担当理事・委員長）

・利益相反の回答が複数年未回答の方についての対応を検討する際、細則などに明確な条文がないた
め、細則の一部改定について下記のとおり提案があり、理事会にて承認となった。

改定案：第 25 条（評議員の職務）に「・義務」、2 として下記の条文を追記する。

第 25 条（評議員の職務・義務）

2 当該事業にかかわる利益相反について毎年自己申告を行なう。

- ・また、細則第 23 条に記載されている「評議員更新資格条件」は現在明確な資料がないため、下記のとおり細則を改定したらどうかという提案があり、理事会にて承認となった。

改定案：第 23 条 評議員は 4 年毎の更新制とする。七、その更新にあたっては、任期中に評議員更新資格条件に定めた単位を 10 単位以上取得することを要する。

6. 閉会の辞（三井田 理事長）

- ・理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以 上

2022 年 10 月 26 日

一般社団法人日本臨床化学会拡大理事会

議長

三井田 孝



議事録確認者

川崎 健治



議事録確認者

濱田 悦子

